

---

# 月と地球

blue birds

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

月と地球

### 【Nコード】

N8642R

### 【作者名】

blue birds

### 【あらすじ】

自分のことは、よく分かんない。

それは良いトコロとか悪いトコロとか関係なく。

そして、その良いとこ悪いとこってのは、自分だけじゃ決められない。他の人がいてくれてこそ——

それは、とても遠い昔のこと。

まだ人が闇を恐れ、世界の一部として機能していた頃のお話です。

「ああ、なんで私はこんななんだろう……」

宇宙に浮かぶ月が、呟きます。

彼女は涙こそ流しませんが、それでも何故か悲しげな様子。と  
思ったのは、おとなりで同じように宇宙にプカプカ浮かぶ地球でした。

地球は、不思議そうに「どうしたんだい？」と、月に問いかけます。

これに答えるのは、他でもない月自身。彼女は、自分の外見がこんなに酷い理由を考えていたのだと、地球に漏らしました。

「……そこで困惑するのは、地球です。」

「……君が言ってる意味が分からないんだけど？僕は、十分綺麗だと思っけど？」

地球は何も考えず、正直な感想を月にいいました。しかし、これを聞いて憤慨する月。彼女は、声を荒げて地球に食って掛かります。

「そうやって、私をバカにする！自分が綺麗に彩られてるからっ

て、鼻にかけちゃって！ なによ、私の肌が灰色でごつごつしてるのが、そんなに綺麗！？ なら、自分が着ている蒼の衣を脱ぎ捨てれば？ それがダメなら、命を育む縁を手放したっていい。蒼を飾る、白生地 of 装飾品なんてものも、捨てちゃいなさいよ！」

ブンブンと怒る月を前に、地球は「は〜」とため息を一つ。そして、それは出来ないと言に告げます。そして再度、君は綺麗だよと月に笑いかけました。

「黄金に輝く君には、いつも見とれていた……宵闇の中にあり、煌煌と世界を照らす君には、僕と供ある命達はいつも、感謝しているよ」

はてさて、地球から「黄金に輝く君」と呼ばれた月は、戸惑います。なぜなら、彼女はどこからどう観たって……彼女自身からは、「灰色の塊」にしか見えないからです。

「……嘘。」

私が黄金？ そんなの、ありえない。だって、私はこんなにも……」

地球は、再度綺麗だよ、月に言いました。「こんなにも、君は、綺麗なんだよ」とーー。

「僕が蒼であるように、君は黄金なんだ。」

……ひよっとすると、君が言うように、本当の君は「灰色の君」なのかもしれないね。けれど、少なくとも僕には、君は「黄金の君」にしかみえない」

この会話を聞いていた太陽は、俺のおかげで灰色の月には光り輝いているんだと地球に言っただけでやろうとしました。しかし、たまたま太陽の横を通り過ぎかけたブラックホールに睨まれ、開きかけたその口を閉じます。

「……ふん、なによ、それ。あなたにしか見えない黄金の私なんて、全然うれしくないし！だいたい、あなた、何？ 私に気があるの？ そんな歯の浮くようなきざな台詞言っちゃって！」

月は、若干の照れをまじらせながら、地球に返します。これに対し地球は、「俺たち星に歯は無いよ」とは返しません。彼は、空気を読まない太陽ではないのですからね。

「そう思ってくれていいよ。僕は、君のことが好きなんだ。だから、ずっと傍にいてほしい。ずっと傍にいて、僕の大事なモノ達の夜を照らしてほしい。これからも、ずっと——」

こうして、月は地球と契りを結ぶことを決めました。それは、『今』という時から数えると、本当に気が遠くなる程遠い彼方の話。

……もちろん、月は地球の口説き文句すべてを信じたわけではあり

ません。けれども、それでも、彼女は彼が信じた「黄金の自分」を信じることにしたのです。

それぐらいは、信じてあげてもいいかなと、遠い日に月を思い、そして今も、そう思い続けているのです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8642r/>

---

月と地球

2011年10月7日23時14分発行